



水と里ネット長崎だより

長崎県土地改良事業団体連合会



「平成28年度 長崎県農業農村整備事業推進大会」
(平成28年6月2日 諫早文化会館にて)



～目次～

長崎県農業農村整備事業推進大会	2～3
平成28年度 農業農村整備事業に対する要請活動 長崎県知事、自民党県連へ政策提案	4
「農業農村整備の集い」開催	5
農林水産省・県選出国會議員へ政策提案・要請活動	5
九州農政局、農林水産省へ政策提案・要請活動	6～7
「大規模災害時における九州協議会連携支援に関する協定」の調印式	8
平成28年度 九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同会議	8
平成28年度 九州協議会合同農業農村整備研修会	8
平成28年度 長崎県多面的機能支払活動組織の集い	9
平成28年度 第1回監事会	10
長崎県管理運営体制強化委員会、長崎県受益農地管理強化委員会	10
平成28年度 長崎県水と里情報連絡協議会総会	11
平成28年度 長崎県営圃場整備地区連絡協議会	11
本会会員新規加入について	11
春の叙勲「旭日単光章」受章おめでとうございます	12
平成28年熊本地震にかかる水と里ネット募金についてのお礼	12
新人紹介	12
参議院選挙に寄せて	13
平成28年度 長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会	13
会議と行事、第39回全国土地改良大会石川大会について	14
会員土地改良区の皆様にお願ひ	14

長崎県農業農村整備事業推進大会

地元より農業基盤整備事業費の追加を要望

6月2日(木)、長崎県農業農村整備事業推進協議会と長崎県土地改良事業団体連合会は、国の平成28年度農業農村整備事業予算の追加措置と平成29年度当初予算の増額、本県の農業生産力向上を目指し、今後の本県農業農村整備事業の更なる推進を図ることを目的に、5回目となる「長崎県農業農村整備事業推進大会」を諫早市に於いて開催しました。当日は、長崎県知事、県議会議長、九州農政局長、県選出国會議員、県議會議員を来賓に迎え、市町、土地改良区など約700名が参加しました。



主催者挨拶で、宮本明雄会長(諫早市長)は「国の本年度農業農村整備事業当初予算は、前年度より232億円の増にとどまっており、平成21年度当初予算の約66%と依然として回復はしていない。このため、事業実施地区の完了の遅延が懸念されており、本協議会等では、国に対して、本年度予算の追加措置と平成29年度当初予算での必要額確保等の要請を行っていく。」と支援・協力を求めました。

来賓の中村法道知事は「農業は地域を支える大切な基幹産業であり、地域間競争の時代となることが予想される中、今後も持続的な農業を展開し、競争力ある力強い農業経営を確立するためには、農地の基盤整備が何よりも重要である。県としても、平成28年度以降の必要な予算の確保について、強く国へ働きかけるとともに、農業所得の向上、農村地域の持続的な発展に向け、農地の基盤整備を積極的に推進してまいりたい。」と挨拶されました。

また、九州農政局長挨拶の中で「総合的なTPP関連政策大綱を踏まえ、攻めの農林水産業に向けた施策を確実に推進し、農業競争力の強化、国土強靱化を図る農業農村整備事業を積極的に進めていく。」と述べられました。

このほか、県議會議長、国會議員の皆様にもそれぞれ力強いメッセージを頂きました。

この後、事業実施中の改良区を代表して、酒井光則：空池原土地改良区理事長と滝和久：有喜土地改良区理事長から現状報告が行われました。報告の中で「計画通りの完成に向け、当初予算での必要額確保が不可欠」、「事業完了が遅れると組合員や担い手の意欲が折れる」など地元の不満や不安を訴えられ、農業農村整備予算の増額を要望されました。

最後に、白川永利：芦辺土地改良区理事長より、現下の農業農村を巡る厳しい状況を打開し、食を支える農業・農村の振興のための大会決議が提案され、満場の拍手で採択し、参加者全員による力強い「ガンパロー三唱」で大会は盛会裏に閉会しました。



推進協議会会長挨拶
(宮本明雄：諫早市長)



来賓挨拶
(中村法道：長崎県知事)



県議會議長来賓挨拶
(中島廣義：県議會議長)



九州農政局長来賓挨拶
(山田耕士：九州農政局次長)



来賓挨拶
(谷川弥一：衆議院議員)



来賓挨拶
(北村誠吾：衆議院議員)



来賓挨拶
(古賀友一郎：参議院議員)



現状報告（事業実施中の土地改良区理事長）



道原悟：飯盛土地改良区理事長の
音頭による「ガンパロー三唱」

大会決議

農業・農村は、安全で安心な食料を安定的に供給するとともに、豊かな国土や美しい景観の保全・形成等の多面的機能の発揮を通じて、重要な役割を果たしてきた。しかし、食料自給率は四割程度であり、農業従事者の高齢化、担い手の不足や過疎化に加え、耕作放棄地の増大や鳥獣被害、農産物価格の低迷、水利施設の老朽化など多くの課題に直面しており、農業農村の健全な維持発展はもとより、国民に対する食料の安定供給が危ぶまれている。

長崎県では、多くの離島、半島、中山間地域を抱え平坦地が乏しいこともあり、九州各県と比べ農地整備が遅れているのが現状である。このような厳しい条件の中で、農業者はじめ関係者の創意工夫と努力により、地域の特性を生かした多様な農業が展開されている。

食料供給力の強化のためには、規模拡大と農地集積を図ることが極めて重要であり、農業所得の向上と農業生産性の向上を図るためには、農地の基盤整備が不可欠である。一方、国の平成28年度の農業農村整備事業当初予算は、3,820億円と前年度より232億円の増にとどまり、平成21年度当初予算5,772億円の約66%と依然として回復していない。

このような現下の農業・農村を巡る厳しい状況を打開し、国土強靱化、競争力強化につながる農業農村整備事業を通じて、食を支える農業・農村の振興のため、「闘う土地改良」のスローガンのもと、下記事項が確実に実現されるよう本大会の名において決議する。

記

- 一、事業効果早期発現のために平成28年度農業農村整備事業予算の追加措置
- 一、計画的な整備を行うために平成29年度農業農村整備事業当初予算での必要額確保

平成28年度農業農村整備事業に対する要請活動 長崎県知事、自民党県連へ政策提案

長崎県農業農村整備事業推進協議会(会長：宮本明雄諫早市長)及び長崎県土地改良事業団体連合会並びに地域農業農村整備事業推進協議会は、総勢21名で、5月20日(金)に知事へ政策提案・要請を行いました。

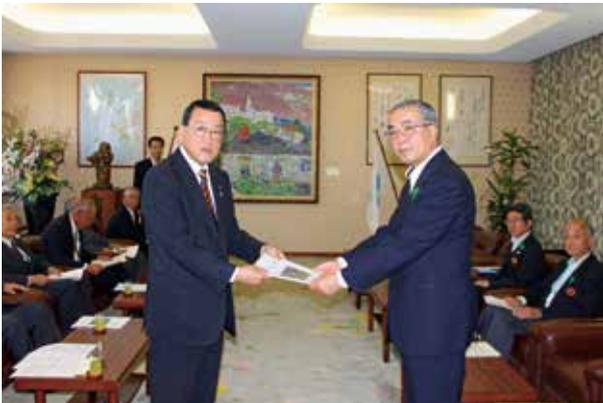
中村知事からは、「国の平成28年度当初予算は、補正予算を含めると前年度から約1000億円増加している。しかしながら、平成21年度予算と比べると当時の7割にも満たない水準にとどまっており、回復していない。県の平成28年度予算についても10億円以上不足しているため、事業を計画的に推進していくためにも今年度の追加補正予算を確保していきたい。

また、県では今後5カ年で23地区、1,180haの新規整備計画を進めている。計画的に、着実に推進していくためには、来年度以降の当初予算での安定的な事業費の確保を引き続き強く要請していかねばならない。県としましては、今後とも全力で取り組んでまいりますので、皆さんのお力添えをお願いしたい。」との力強い回答を頂きました。

また、自民党長崎県連へも政策提案・要請を行いました。宮本会長の要請の後、事業実施中の改良区からは、要望額の約3割の予算しかついていない状況下における地元の窮状が訴えられ、平成28年度農業農村整備事業予算の追加措置、平成29年度国の農業農村整備事業当初予算の確実な確保について要望を行いました。

【 要 請 内 容 】

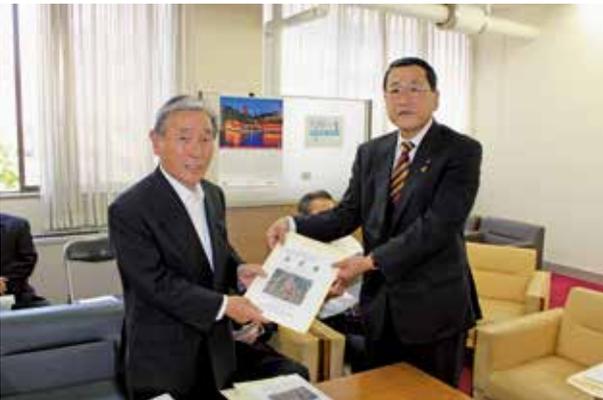
1. 平成28年度農業農村整備事業当初予算における県の早期執行
2. 平成28年度国の農業農村整備事業予算の追加措置
3. 平成29年度国の農業農村整備事業当初予算での必要額確保
4. 県の農業農村基盤整備事業新規地区の強力な推進



中村法道：長崎県知事へ要請



田中愛国：県議会議長へ要請



自由民主党長崎県連へ要請



自由民主党長崎県連へ要請

『農業農村整備の集い』開催 ～農を守り、地方を創る予算の確保に向けて～

平成28年5月30日（月）、シェーンバッハ・サポー（東京都千代田区）において、全国土地改良事業団体連合会主催で「農業農村整備の集い」が開催されました。

この集いは、全国から農業農村整備関係者が一堂に会し、それぞれの現場で直面している喫緊の課題を再確認し、これらの諸課題に緊急に対応するべく、農業農村整備事業の一層の充実と推進を期することを目的に開催されました。

「集い」には、加藤寛治農林水産大臣政務官をはじめ多くの衆参両院の国会議員や農林水産省の幹部らを来賓に迎え、全国の土地改良区並びに市町村、都道府県水土里ネットなど1000人余りの参加があり、長崎県からは、長崎県農業農村整備事業推進協議会の宮本明雄会長ほか23名が参加しました。

「集い」では、二階俊博全国水土里ネット会長の挨拶の後、加藤寛治農林水産大臣政務官、末松広行農村振興局長、稲田朋美自民党政調会長、石田祝稔公明党政調会長が祝辞を述べられ、その後、農業農村整備事業予算の情勢報告、農業農村整備事業の取り組みについての事例発表が行われました。

おわりに、安定的・計画的な事業実施のため、平成29年度農業農村整備事業関係当初予算の確保と平成28年度の追加的な予算措置を講ずることとする要望書が提案され、満場一致で採択しました。最後にガンバロウ三唱を参加者全員で声高らかに唱和して、集いを閉会しました。



二階俊博：全国水土里ネット会長の挨拶



加藤寛治：農林水産大臣政務官の来賓祝辞

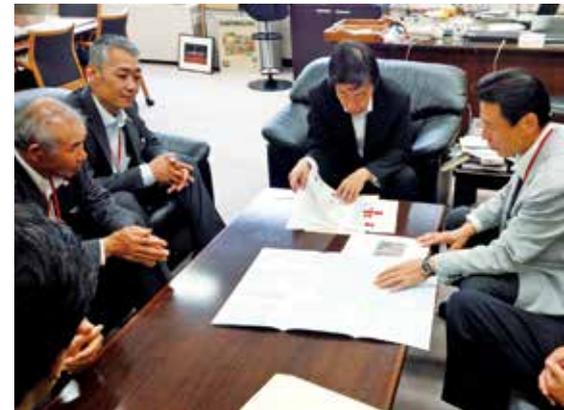
農林水産省・県選出国会議員へ政策提案・要請活動

長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）、長崎県農林部、長崎県土地改良事業団体連合会及び関係土地改良区は、集い終了後、農林水産省、本県選出国会議員に対し要請活動を行いました。

松尾一郎：水土里ネット長崎副会長より、本県の農業農村整備事業予算の状況を説明し、平成28年度農業農村整備事業予算の追加措置、平成29年度農業農村整備事業当初予算の増額を要望しました。



加藤寛治：農林水産大臣政務官への要請



末松広行：農村振興局長への要請

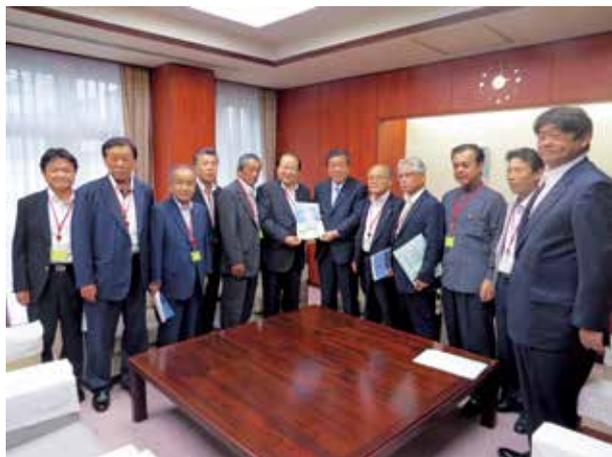
九州農政局、農林水産省へ政策提案・要請活動 九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進に向けて

九州農業農村整備事業推進協議会（松岡吉寛会長：福岡県農業農村整備事業推進対策委員会委員長）及び土地改良事業団体連合会九州協議会（金子健次会長：水土里ネット福岡会長）は、農業農村整備事業予算確保等を求めるため合同政策提案活動を国に対して行いました。

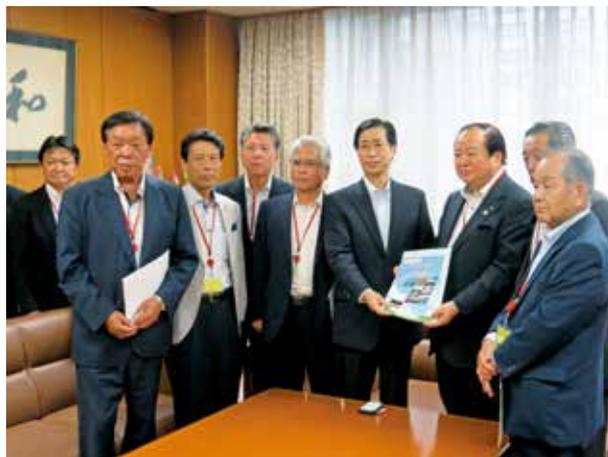
7月12日（火）、両協議会より35名が参加し、九州農政局に対し合同の政策提案・要請活動を実施しました。金丸康夫：九州農政局長をはじめ幹部の方々18名に出席を頂き、九州地域における農業農村整備事業の強力な推進と予算の確保を要望し、意見交換会を行いました。

7月26日（火）、同協議会より30名が参加し、農林水産省に対して、農業農村整備事業の当初予算の確保を要請しました。森山裕：農林水産大臣と奥原正明：農林水産事務次官との面談では、九州・沖縄の現状と課題並びに長崎県の基盤整備事業の効果について説明し、予算確保などの要望内容について十分理解を示していただきました。

また、長崎県農業農村整備事業推進協議会（会長：宮本明雄諫早市長）並びに本会は、本県選出国會議員へ、平成28年度農業基盤整備事業費の追加と、平成29年度農業農村整備事業当初予算の増額についての長崎県独自要請書と九州協議会要請書を手渡し、要請を行いました。



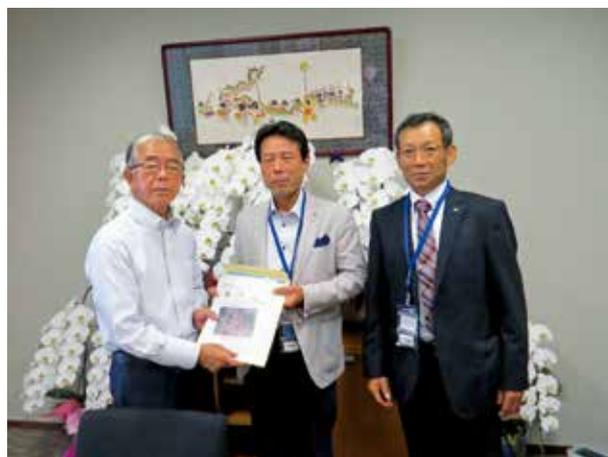
森山裕：農林水産大臣へ要請



奥原正明：農林水産事務次官へ要請



佐藤速水：農村振興局長へ要請



金子原二郎：参議院議員への要請



室本隆司：農村振興局次長へ要請



金丸康夫：九州農政局長挨拶

農業農村整備事業に関する提案書

九州・沖縄地域における農業農村整備事業の強力な推進に向けて

九州・沖縄地域の農業農村整備事業の推進につきましては、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

九州・沖縄地域の農業・農村は、温暖な気象条件等の地域特性を生かした多彩な農産物を生産し、国民に安全・安心な食料を安定的に供給するなど、我が国の食料供給基地として重要な役割を担っております。

本年4月に発生した熊本地震により、農地・農業施設等に甚大な被害が発生しており、閣議決定により激甚災害指定されましたが、被災された農業者の方々が一日も早く営農を再開できるよう、速やかな復旧対策が必要とされます。

今日の九州・沖縄地域の農業・農村は、過疎化、高齢化などに起因する土地持ち非農家の増加による耕作放棄地の増大や鳥獣被害など多くの課題が山積しており、先人達のたゆまぬ努力により維持・活用されてきた農地・農業用水等の地域資源に甚大な影響を及ぼすことが懸念されます。

このような状況が続けば、営農意欲の減退による農地の荒廃、農業水利施設の老朽化が進み、食料生産の減少による食料自給率の低下、さらには自然災害により国民の生命と財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されています。

このような状況下、国におかれましては農業の成長産業化を我が国全体の成長に結びつけるとともに、食料自給率・持久力の維持向上を図ることにより国民の食を守り、美しく伝統ある農山漁村を将来にわたって継承していくため『強い農林水産業』、『美しく活力ある農山漁村』、『国土強靱化』に資する政策が精力的に進められております。

日本の豊かな国土や自然環境も、農業農村があって初めて維持されるものでありますので、今後も農業・農村の持続的発展のために、更なる農業農村整備事業を強力に推進する必要があります。

つきましては、このような九州・沖縄地域の農業・農村の現状をご賢察いただき、農業農村整備事業に関しまして特段のご配慮を賜りますよう、下記事項を強く提案いたします。

記

- 1 農業農村整備事業に係る平成28年度予算追加措置及び平成29年度当初予算の確保並びに震災からの復旧・復興に係る財源の確保
- 2 農業農村整備事業における地元負担金の軽減
- 3 水土里情報システムの更新に係る予算の確保
- 4 多面的機能支払交付金の必要額の確保
- 5 土地改良区の健全な運営のための支援

「大規模災害時における九州協議会連携支援に関する協定」の調印式

5月27日（金）、福岡市内（博多サンヒルズホテル）において、「大規模災害時における土地改良事業団体連合会九州協議会連携支援に関する協定」の調印式が執り行われました。

土地改良事業団体連合会九州協議会：金子健次会長（水土里ネット福岡会長）は、「本協定書は、九州各県土連が一体となって協力し、支援を行っていくことが目的である。」と挨拶され、各県会長立ち会いのもと協定書に調印が行われました。

本協定は、九州・沖縄管内で大規模災害が発生した場合に被災県の速やかな復旧・復興を支えるため、被害調査や工法検討、農地の測量、災害査定に関わる設計業務などでの協力を想定しており、各県土連が相互に連携して対応するものです。各県土連は、地震や洪水などにより広範囲で被災した場合に、支援の実施期間や内容などを九州協議会会長県に伝え、支援を要請することができます。要請を受けた会長県は各県と連携して、円滑に支援します。

調印式では、坂田孝志：熊本県土地改良事業団体連合会副会長が「『まけんばい』と強い気持ちで復旧・復興に努力している。今後も各県の支援をお願いしたい」と訴えられました。



大規模災害時における九州協議会連携支援に関する協定書

平成28年度九州協議会・九州農業農村整備事業推進協議会合同会議

5月27日（金）、福岡市内（博多サンヒルズホテル）において、九州各県より協議会役員、県職員、連合会役職員58名出席のもと、平成28年度の合同会議が開催されました。

会議では、九州農業農村整備事業推進協議会：松岡吉寛会長（福岡県農業農村整備事業推進対策委員会委員長）挨拶の後、議事に入り、平成27年度推進協議会事業報告及び平成28年度政策提案活動（案）について協議がおこなわれました。



松岡吉寛会長
（福岡県推進委員会会長）

平成28年度九州協議会合同農業農村整備研修会

5月27日（金）、福岡市内（博多サンヒルズホテル）において、平成28年度農業農村整備研修会が開催されました。

土地改良事業団体連合会九州協議会：金子健次会長（水土里ネット福岡会長）の挨拶の後、情勢報告として、登り俊也：九州農政局農村振興部設計課長より、平成28年度農業農村整備事業予算や新たな土地改良長期計画、国土強靱化計画等について情勢報告が行われました。

続いて、松本良明：山田原土地改良区副理事長が、平成27年度農業農村整備優良地区コンクール（農業生産基盤整備部門）で農村振興局長賞を受賞した山田原地区の事例を紹介され、研修会は盛会の内に終了しました。



事例発表
（松本良明：山田原土地改良区副理事長）

平成28年度 長崎県多面的機能支払活動組織の集い

長崎県農地保全推進協議会(会長:松尾一郎県土連副会長)主催により、6月2日(木)諫早文化会館(諫早市)において、県内の活動組織より約1,000名が参加し、集いを開催しました。大会では、中村法道:長崎県知事(代理 加藤兼仁:農林部長)と吉村洋:長崎県議会農水経済委員長から来賓の挨拶がなされました。

協議会の松尾一郎会長は、「農村の課題は、高齢化、人口減少が進む農村において、どのようにして、水路・農道等の管理に係る担い手への負担を低減させるかということでもあります。多面的機能支払制度は、我が国の大本である農業を支える非常に重要な制度であります。国におかれましては、農村の声をお聞きいただき、地域の要望にみあう予算の確保、制度の拡充をぜひお願いしたい。」と挨拶しました。

来賓の加藤兼仁:長崎県農林部長は、「多面的機能支払制度は、農業・農村の多面的機能の発揮、農村集落機能の維持などに大変重要な役割を果たしているところです。しかしながら、本県における取組は、未だ、対象となりえる農地の4割弱に留まっている状況にあります。活動組織の広域化による事務処理の効率化など、地域の実情に応じて複数集落が連携した活動体制とする取組を、協議会、市町と一体となって支援しながら、農地のカバー率を高め、農地、農村、営農活動維持を図ってまいりたい。」と挨拶されました。吉村洋:長崎県議会農水経済委員長は、「多面的機能支払については、今年度の国の全体予算が、地域の要望額に足りておらず、農村地域を未来に繋ぎ、地方を創生していくためには、農業者の声、地方の声を訴えていくことが、非常に重要でございます。県議会といたしましても、皆様と一緒に、制度の取組拡大、国への更なる支援の拡大等要請を行ってまいりたい。」と述べられました。

続いて、九州農政局からの基調講演が行われ、引き続き、小野地域環境保全の会(諫早市)および吾妻地域農地・水環境保全管理協定運営委員会(雲仙市)が日頃の活動状況等の事例発表を行いました。

最後に、島原農地保全広域協定運営委員会(島原市)の平野俊輔会長による大会決議を満場一致で採択するとともに、参加者全員による「がんばろう」を三唱し、結束を固めました。



主催者挨拶(松尾一郎会長)



来賓挨拶(加藤兼仁:農林部長)



来賓挨拶(吉村洋:農水経済委員長)



基調講演(登り俊也:農政局設計課長)



小野地域事例発表(諫早市)



吾妻地域事例発表(雲仙市)



大会決議
(平野俊輔:島原広域協定委員会会長)



参加者全員による
「がんばろう三唱」



閉会挨拶
(中村功副会長:農林部次長)

平成28年度 第1回監事会

7月21日（木）、土地改良会館において、田中隆一代表監事（西海市長）、大久保純三監事（竜尾川土地改良区理事長）、川口規一監事（牟田土地改良区理事長）出席のもと本年度の第1回監事会が開催されました。

代表監事の挨拶の後、審議を行い、各議案は原案どおり可決承認されました。

また、監査については、厳正な監査の結果、適正に処理されていることが報告されました。

議事

第1号議案：平成28年度監査の実施計画に関する件について

第2号議案：平成27年度監査結果に対する措置に関する件について

第3号議案：平成27年度決算監査に関する件について



長崎県管理運営体制強化委員会

7月8日（金）、土地改良会館において、長崎県管理運営体制強化委員会が推進委員10名の出席により開催されました。議事内容について審議の結果、全て承認されました。

【議事内容】

- 1) 平成27年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 2) 平成28年度事業実施計画並びに収入支出予算（案）について
- 3) 平成29年度施設・財務管理強化対策（案）について

【推進委員】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ○新開康成（九州農政局土地改良管理課課長補佐）※代理 | ○佐藤勝也（波佐見町農林課係長）代理 |
| ○磯部貞義（長崎県農村整備課参事） | ○柏野龍一郎（三会原土地改良区事務局長） |
| ○荻野大輔（長崎県農村整備課課長補佐） | ○吉川靖（日本政策金融公庫農業食品課長） |
| ○今里直樹（長崎県農業経営課課長補佐） | ○松尾一郎（水土里ネット長崎専務理事）※委員長 |
| ○辻野秀樹（西海市農林課長） | ○本川義一（水土里ネット長崎事務局長） |



長崎県受益農地管理強化委員会

7月8日（金）、土地改良会館において、長崎県受益農地管理強化委員会が推進委員8名の出席により開催されました。議事内容について審議の結果、全て承認されました。

【議事内容】

- 1) 平成27年度事業実績報告並びに収入支出決算額について
- 2) 平成28年度事業実施計画並びに収入支出予算（案）について
- 3) 換地処分遅延地区等の解消に向けた取り組みについて

【推進委員】

- | | |
|----------------------------|-------------------------|
| ○新開康成（九州農政局土地改良管理課課長補佐）※代理 | ○柏野龍一郎（三会原土地改良区事務局長） |
| ○川村彰（長崎地方法務局統括登記官） | ○松尾一郎（水土里ネット長崎専務理事）※委員長 |
| ○荻野大輔（長崎県農村整備課課長補佐） | ○成末昭彦（水土里ネット長崎技術部長） |
| ○辻野秀樹（西海市農林課長） | ○田添孝治（水土里ネット長崎換地課技師） |



平成28年度 長崎県水土里情報連絡協議会総会

7月5日（火）、土地改良会館において、県、市町、土地改良区、農業関係団体が会員となる長崎県水土里情報連絡協議会の平成28年度の総会が開催されました。

開会にあたり、松尾会長（県土連副会長）から「今後も更なる利用団体の拡大と水土里情報システムの利便性向上に努めて参りたい。」と挨拶がありました。

挨拶の後議事に入り、各議案とも原案どおり可決承認されました。議事内容は以下のとおりです。



議 事

- 第1号議案：平成27年度事業報告の承認を求める件
- 第2号議案：平成28年度事業計画の承認を求める件

平成28年度 長崎県営圃場整備地区連絡協議会

7月27日（水）、諫早市において、県内の土地改良区38団体及び来賓、関係機関、本会など計79名出席のもと、平成28年度長崎県営圃場整備地区連絡協議会が開催されました。

会議は、各議案について審議が行われ、全議案とも可決承認されました。

なお、平成29年度の会長は、川口忠秋(佐世保南土地改良区理事長)に、開催地は、佐世保市に決定しました。

議 事

- (1) 協議会の脱退・加入、その他について
- (2) 平成27年度協議会会計報告及び監査報告について
- (3) 各改良区からの提起議題について
- (4) 協議会会則及び規則の一部変更について
- (5) 役員選任について
- (6) 講話
- (7) その他
- (8) 次期開催地の決定について



本会会員新規加入について

この度、下記土地改良区が本会会員に加入されましたのでご紹介します。

これにより本会の会員土地改良区は、98団体となりました。

土地改良区名	所在地	理事長	加入年月日
<small>あいっばら</small> 愛津原土地改良区	雲仙市愛野町甲3997番地1	松尾 文昭	平成28年6月15日
<small>しろさき</small> 白崎土地改良区	西海市西彼町小迎郷830番地	山脇 初良	平成28年6月16日
<small>ゆうべ</small> 夕部土地改良区	杵岐市石田町山崎触671番地	赤木 英機	平成28年6月29日

春の叙勲「旭日単光章」受章おめでとうございます

平成28年春の叙勲で、此見武次様（彦岐土地改良区理事長）が土地改良事業功勞での「旭日単光章」を受章されました。

此見様におかれましては、平成4年4月より彦岐土地改良区理事として12年9ヶ月、平成17年1月より現在までの11年以上理事長として、集落営農体制の確立や品目横断的経営安定対策への取り組みなどを行われ、県下のモデルケースとなるなど、先導的な役割を果たされました。これらの成果は、関係機関及び関係農家との調整等を主体的に取り組んだ結果として、他の模範ともなっており、農業経営の安定と向上に多大な貢献をされました。

また、去る3月25日にシェーンパツハ・サポー（東京都）で行われた全国水土里ネット表彰式において、彦岐土地改良区が第57回全国土地改良事業功勞者表彰の「金章」を受章されました。

この慶事に際し、5月18日（水）にビューホテル彦岐（彦岐市）において、受章記念祝賀会が開催されました。



此見武次様（彦岐土地改良区理事長）



平成28年熊本地震にかかる水土里ネット募金についてのお礼

先般、土地改良区の皆様方にご協力いただきました熊本地震にかかる水土里ネット募金につきましては、多数の団体及び個人より心温まる善意をお寄せ頂き誠に有難うございました。

県内での募金の総額は、67団体および本会役職員並びに本会職員OB合わせて、2,372,210円となりました。募金は、全国水土里ネットを通じ、水土里ネット熊本・大分を介して、被災した土地改良区等へ贈呈することとなっています。

新人紹介



名前：原 慎太郎（はら しんたろう）

所属・職名：技術部技術課 技師

出身：諫早市

皆さん、はじめまして。今年度より水土里ネット長崎に入会しました原慎太郎です。入会前は建築測量業、浄水場の管理業、そして測量業を行ってきました。測量業の経験も浅いため今はまだできることが限られていますが、日々仕事や勉強に対して挑戦していきたいと思っております。

私は学校などで農業に関して学んだわけではありませんが、私の祖父が農家で、幼いころは休みの日に祖父の家に遊びに行き、祖父はもちろんのこと、近所の農家の方々にも良くしていただきました。そして、田植え、稲刈りを手伝うこともあり、農業の大変さはもちろんですが、大切さについても学ぶことができました。そのため、農業や農家の方々に対しても強い思い入れがあります。

そんな大好きな地元長崎の農業発展のために精一杯頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

参議院選挙に寄せて

私は、この度の参議院選挙におきまして、当選の栄に浴することが出来ました。

今後は、土地改良に関係する方々が心を一つにさせていただいた結果を胸に刻み、皆様のご期待に応えるよう頑張っております。

さて、私は、全国を回り皆様から色々なご意見を伺ってまいりましたが、農政新時代を拓いていく上で、その基盤となる農地と水利施設の保全と機能の向上に不可欠な予算の確保が必要であるとの認識を深くしたところです。

私は、「土地改良は日本の命綱」であることを強く訴えてまいりました。これからも固い決意の下、微力ではありますが、皆様とともに活動してまいります。

今後とも皆様のご理解とご支援、そしてご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、貴県土地改良事業団体連合会の益々の発展と、会員の皆様お一人おひとりのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



平成28年8月吉日

都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問
参議院議員 進藤金日子

平成28年度長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会

7月30日(土)、諫早市営ソフトボール場(馬事公園)において、平成28年度長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会が開催されました。

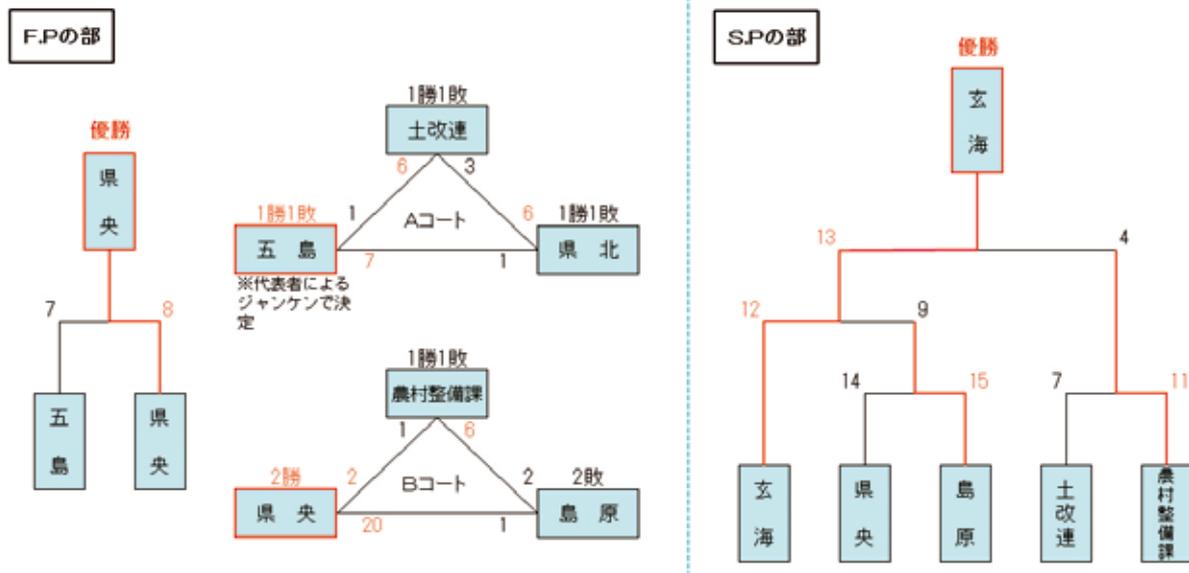
本大会は、ファーストピッチ(F.P)とスローピッチ(S.P)の2種目に分かれ、F.Pは6チームのリンクリーグ、S.Pは5チームのトーナメントにより、炎天下の中、熱戦が繰り広げられました。

熱戦の結果は、以下のとおりです。



選手宣誓を行う原慎太郎(土改連チーム)

対戦結果表



会議と行事

7月

- 5日 長崎県水土里情報連絡協議会総会(長崎市：土地改良会館)
- 7日 九州・沖縄ブロック水土里情報センター連絡会議(福岡市)
- 8日 長崎県管理運営体制強化委員会(長崎市：土地改良会館)
- 8日 長崎県受益農地管理強化委員会(長崎市：土地改良会館)
- 11日 小水力等再生可能エネルギー導入促進説明会(熊本市)
- 12日 九州農政局へ要請活動(熊本市)
- 19日 九州協議会第1回技術担当者会議(沖縄県)
- 21日 平成28年度第1回監事会(長崎市：土地改良会館)
- 26日 農林水産省・県選出国會議員へ要請活動(東京都)
- 27～28日 長崎県営圃場整備地区連絡協議会(諫早市)
- 28日 全国農業集落排水事業推進協議会通常総会(東京都)
- 28～29日 九州地域施設管理事業連絡協議会(佐賀市)
- 29日 平成28年度長崎県農村振興技術連盟研修会(諫早市)
- 30日 平成28年度長崎県耕地関係機関対抗ソフトボール大会(諫早市)

8月

- 1～5日 九州・沖縄ブロック換地事務新規担当者研修会(福岡市)
- 10日 農業会議第5回常設審議委員会(長崎市)
- 22日 第5回換地システム開発全国会議(東京都)
- 22～23日 水土里 Maps、水土里クラウド研修会(鹿児島市)

9月

- 5～6日 九州協議会専務・常務理事会議(福岡市)
- 8日 水土里情報システム運用検討会(川崎市)
- 中旬 九州管内耕地関係課長会議(熊本市)
- 15日 全国ため池等整備事業推進協議会総会(東京都)
- 15日 全国水土里ネット臨時総会(東京都)

第39回全国土地改良大会石川大会について

来たる10月25日(火)、石川県において第39回全国土地改良大会石川大会が開催されます。

長崎県からは35名の参加を予定しております。

日 時：式典：10月25日(火)
事業視察：10月26日(水)
会 場：いしかわ総合スポーツセンター「メインアリーナ」



会員土地改良区の皆様にお願ひ

本会会員加入時に加入届出書を提出頂いておりますが、住所並びに役職等の変更等があった場合は、変更届書を提出して下さいますようお願い致します。

また、改良区主催でイベントなどを実施される場合は、本誌(水土里ネット長崎だより)に掲載したいと思っておりますので、本会までお気軽にお知らせ願ひます。



土地改良会館 〒850-0057 長崎市大黒町9番17号 TEL(095)823-3101・FAX(095)823-3102
総務部：総務課・会員支援課・事業推進室 (E-mail : n.soumu.3101@ntr.or.jp)
技術部：技術課・換地課 (E-mail : nagasaki.setukei@ntr.or.jp)

県央支所：〒854-0071 諫早市永昌東町25-37 TEL(0957)23-7645・FAX(0957)27-0025・✉ sisho02@ntr.or.jp
島原支所：〒855-0036 島原市城内1丁目1185-1 TEL(0957)62-6424・FAX(0957)65-0618・✉ sisho03@ntr.or.jp
五島支所：〒853-0032 五島市大荒町441-1 TEL(0959)72-5007・FAX(0959)72-5007・✉ sisho05@ntr.or.jp
壱岐支所：〒811-5133 壱岐市郷ノ浦町本村触509-3 TEL(0920)47-0408・FAX(0920)48-1011・✉ sisho06@ntr.or.jp

ホームページ <http://ntr.or.jp>

水土里ネット長崎

検索

長崎県農地保全推進協議会 TEL(095)816-3636 ✉ nagasaki.nkyougikai@ntr.or.jp

【本誌に関するお問合せやご質問などは、水土里ネット長崎総務課までお願い致します】